

テーマ

地域の魅力発信によるグローバル需要開拓

イスラム教の女性が安心して利用できる美容室づくり

千葉美容事業協同組合

機を捉えたムスリマ対応のためのサービススキルや知識の習得・向上の取組みへの挑戦により、行政・外部との連携等が得られ、対応店舗の拡大と新たな顧客獲得に結びついている。

背景と目的

小規模美容室の売上が減少傾向にある中、平成26年、経営の安定と発展を図るため、共同購買、共同労務管理、販売促進及び教育情報事業の展開等を行う組合として設立した。2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、千葉市と連携し、訪日外国人客「インバウンド」向けの取組みの一環としてイスラム教徒の女性「ムスリマ」への対応を開始した。

事業・活動の内容と手法

ムスリマはヒジャブと呼ばれる

スカーフで髪を隠し、家族以外の男性に頭髪を見せることが禁止され、動物性シャンプーの仕様もできない等から対応可能な美容室は、組合での取り組み開始前には東京・恵比寿に一店舗しかなく、日本の美容技術を利用することが難しい状況にあった。千葉市内には300人ほどのムスリマがいるが、組合のムスリマ対応店舗が知れ渡れば遠方からの集客も見こまれるとともに、インバウンドの集客にもつながると考えた。

ムスリマ対応には、①外から見えないような配慮、②女性スタッフだけの対応、③シャンプー等に植物性を使用したハラル対応、④礼拝スペースの確保、⑤英訳メニューの用意が挙げられる。組合では、スタッフ向けに英会話教室もスタートさせている。さらに、和 문화への精通、会話力のアップ、異文化への理解等を行うなどの新

たな取組みにより、組合加入を促進する好機であり、組合及び組合員の活性化に繋がることで、美容業界、さらには市内の活性化の一助になればと考えている。

平成27年11月25日・26日に幕張メッセ(千葉市)で開催された「ジャパンハラルエキスポ2015」に出展し、美容室の紹介とともに着物の試着や着物生地へのヒジャブの紹介等を行ったところ、参加したムスリマから高い評価を得ることができた。これらの活動により、自国への理解を深め、和服への注目度を高め、諸外国文化を取り混ぜた和装で街ゾロ運動にまで発展させていきたいとする。

活動の成果

都内のムスリマ対応の美容室から直接指導を受けることができ、現在ムスリマ対応店舗を12店設置するに至り、留学生を中心に徐々

に対応している。今後は、千葉市や大学との連携を深め、顧客獲得と共に店舗拡大に努めていきたいとしている。さらに、和服をはじめ日本の美容文化の情報発信等を行い、インバウンド集客につなげ、日本美容文化の体験をできるように環境を整えていく。



イスラム女性への店舗対応

千葉美容事業協同組合

住所：〒260-0018
千葉市中央区院内1-14-7
K&I 2階

設立：平成26年2月

出資金：890千円

電話：043-307-7020

業種：美容業

組合員：14人